



社外補修パーツを使った冷却系メンテナンス

マイルならリーズナブルなメンテナンスが可能！

冷却系を効率的かつ効果的にメンテナンスするには、入念な点検をした上でシステム全体をまとめて整備するのが理想だ。

だがそうすると、費用も増えてなかなか実践できないのも現実だろう。

そんな時に活用したいのが社外の補修用パーツ。これを使えばリーズナブルなメンテナンスが可能になる。

●部品の問い合わせ：G-STYLE ☎04-7187-4405

冷却系はまとめてメンテナンスするものが正解！
だからこそ安価なマイルを使うメリットは大きい

定

期的にメンテナンスしているクルマであれば、冷却系パーツの交換時期は分かりやすい。その車種に詳しいメカニックは交換してからの走行距離や時間、そして数多くの経験から次の交換時期の目安を把握できるからだ。

こういった場合は部分的にメンテナンスをしていくことで快調をキープできるが、これまでのメンテナンス履歴が分からないクルマだと、何らかのトラブルが起きてから対処するのが一般的だ。例えば、サーモスタットが不良だった場合これを交換するわけだが、それだけでは不完全であることも多い。周辺のゴムホース、ウォーターポンプ、サブタンクといった部分も確実に経年劣化が進んでいるから、水漏れを起こせば水温が上昇してしまいオーバーヒートに繋がる可能性があるのだ。オーバーヒートはエンジン内部へのダメージも大きいから、絶対に避けたいトラブルの一つなのである。

冷却系、とくに水回りはなるべくセットで交換するほうが良いと言われている。それは工賃の節約というだけではなく、冷却系を正常に保つことが水温の安定に繋がり、クルマの心臓部であるエンジンを守るという意味でもあるからだ。

では、実際に冷却系をまとめてメンテナンスするとなった時にぶつかるのが予算の問題。どこまでセットでメンテナンスをするかにもよるが、交換する部品が増えれば費用も増え

る。まとめてメンテナンスしたいけれど予算が足りないといったケースもあるだろう。そんな時に活用したいのが、社外の補修用パーツである。ドイツのアフターパーツメーカーであるマイルは、世界中に販路を持つメジャーブランド。メルセデス・ベンツ、BMWといったドイツ車の冷却系パーツも豊富にラインナップされている。社外品なので部品代を抑

えられるというのが最大のメリット。部品単価がリーズナブルなので、まとめて整備すればするほどそのメリットは大きくなるわけだ。さらに、マイルの正規販売店であるジースタイルで部品を購入すれば2年保証（HDラインは4年）が付くので、いざという時も安心。冷却系メンテナンスのパーツチョイスとして、マイルも検討してみてほしい。

マイルの代表的な冷却系パーツ



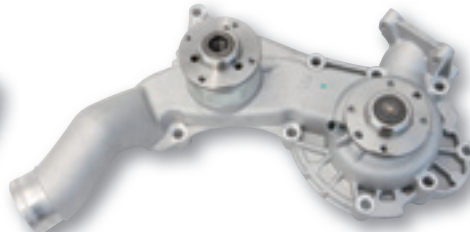
こちらはBMW用にサブタンク。突然割れて水漏れを起こすことが多いので、未交換なら予防整備をしておきたい。



ゴムホースは経年劣化により硬化化してしまうケースが多い。接続バンドが緩んで水漏れを起こすこともある。セットで交換しておくべき部品の一つ。



定番の消耗品であるウォーターポンプもラインナップしている。写真はBMW用。



メルセデス・ベンツのウォーターポンプも用意。写真はW140こと3代目SクラスのV12エンジン用だ。



W124ことメルセデス・ベンツ初代Eクラス用のサブタンク。キャップも同時に交換しておくこと。



マイルではセンサーもラインナップしている。写真はE46ことBMW 4代目3シリーズの水温センサー。



これまでのメンテナンス履歴が分からないクルマであれば、冷却系はなるべくセットでメンテナンスしておきたい。マイルを使えば費用を抑えることも可能。

G-STYLE から部品を購入すれば2年保証（HDラインは4年保証）が付く！